

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
62

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)

一級建築士。2000年、UNESCO 遺跡保存オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Moi」をオープンする。現在は、建築設計とレストラン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援活動を行っている。

村の給食プロジェクト

MoiMoi Life in Siem Reap School Meal Project

Malnutrition is one of the most serious problems in the villages of Cambodia. Angkor Krau Village, where we are lending our support, has the same problem. We checked the height and weight of children in the village as part of approach in tackling this issue. To compare this with the average height and weight of children in Japan, we calculated the average data of 14-year-old children in the village. To our surprise, their average weight was more than 20 kg lighter than that of the children in Japan, and the average height was more than 20cm shorter. Facing the reality of malnutrition in the village, we started delivering a 'school meal' project. We regularly cook rice porridge with chicken and vegetables with the help of high school students from the village. The children are very happy to have this.

一見、のどかで平和に見えるアンコール・クラウ村も、何度か足を運ぶうちにその実態が見えてくるようになります。賭博と酒にハマった大人たち、子供が工事現場で働いて家族全員を支えている家庭など…。村の子供の中には、寄生虫でお腹がパンパンに膨れている子や、慢性的な栄養不良で髪の毛が退色している子もいます。どう見ても小学校低学年にしか見えない体格なのに、年齢を聞いてみると12〜15歳という答えが返ってきて、驚くこともしばしば。

いったい、カンボジアの農村部の子供たちの発育状態はどの程度なのでしょう？ 手始めに、アンコール・クラウ小学校の4年生を対象に体重と身長を測り、日本の子供の平均と比べてみることにしました。とはいえ、一筋縄ではないのです。1人1人の体重と身長を測りながら年齢を聞いてみると、小学4年生とは違って、9〜16歳までと、年齢に7歳も

の幅があることがわかりました。カンボジアでは留年する生徒も多いのです。結局、一番人数の多かった14歳（日本の13歳）の平均値を計算してみたのですが、なんと男女ともに身長は20センチ以上低く、体重は20キロ以上軽いという結果が出てきたのです！ さらに、子供たちに朝食について聞いてみると、朝食を食べることができないのは、おおよそ4人に1人。その内容はというと、晩の残りの冷や飯に水をかけて…。というのが最も一般的だったのです。栄養的に偏りがあり、いつもお腹をすかせている村の子供たちに対して、何かできることはないだろうか…。こうして始まったのが、村の高校生が中心となって実施する給食プロジェクトです。普段、村ではめったに食べることができない鶏肉と野菜がたっぷり入った雑炊を何杯もおかわりできるとあって、子供たちは大喜び。村の青年たちにも責任感と団結力が芽生えるようになりました。